



妙典小だよい

主体性を育てる ~自主・自律・共生~



令和7年7月4日
7月号

校長 富永 香羊子

お天気に恵まれた臨海学校

6月19日(木)、20日(金)の2日間、5年生は、「臨海学校」に行ってきました。小学校生活では、初めての宿泊学習となりましたが、朝早くからバスに乗って、目的地を目指しました。今年の活動の目的は、「①自然・伝統文化やそれに携わる人々と触れ合うことにより、これまでの学習を確認したり、深めたりする。②公共の場のものを大切にし、一人一人が自分の行動に責任を持つ。③宿泊学習を通して、自主的に行動するとともに、友達と協力して活動し友情を深める。」の3点でした。

1日目は、房州うちわづくりと、地引網でした。うちわづくりは、手先の器用さが重要で、簡単に仕上げてしまう子や、友達同士で助け合いながら、苦戦している子など様々でしたが、みんな素敵な房州うちわを作り上げることができました。地引網は、大量…とまではいきませんでしたが、捕まえたお魚は、民宿の方にお昼ご飯のお味噌汁の具にしていただいて、みんなでおいしく味わいました。また、ホテル前の素敵なビーチで、海に沈む夕日を背に踊った南中ソーランは、最高でした。道行く地元の方々も足を止めて、子供達の演舞に見入っていました。



2日目は、藍染めと紙漉き、大山千枚田の自然体験を楽しみました。藍染めも紙漉きも講師の先生の話をしっかりと聞いて、世界にたった一つの素敵な芸術作品に仕上げることができました。大山千枚田での自然体験では、普段、妙典小学校の周りでは、見ることのできない生き物とたくさん触れ合うことができました。この2日間、「たくさんの初めて」を経験した子供たちは、最初にたてた3つの目的を、しっかり果たせたと思います。ホームページでも紹介していますので、ぜひご覧ください。

■お話キャラバンカー(2年生・1年生)

今年度、子供の読書活動優秀実践校として文部科学大臣表彰を受けた妙典小学校に、講談社読書推進グループから、「全国訪問おはなし隊」の派遣依頼があり、2年生が参加することになりました。学級ごとに、「おはなし会」と「キャラバンカー見学」を行いました。当日は、1年生も「キャラバンカー見学」に参加しました。

『子供達が本と仲良くなる最初のきっかけは、絵本を読んでもらうこと。読み聞かせのたのしい時間のなかから、本の手ざわり、おもしろさを知ってほしいと願っています。「おはなし隊」訪問時の基本プログラムは、2部構成。講談社スタッフ「隊長さん」による絵本の読み聞かせや大型紙芝居の「おはなし会」(30分)と、子供達がキャラバンカー内の好きな本を選んで読める「自由閲覧」(30分)となっています。』

(講談社 HP より)

子供達はキャラバンカーに積まれた、たくさんの本に囲まれて、素敵な時間を過ごすことができました。

※ 詳細は、講談社 HP をご覧ください。 <https://ohanashitai.kodansha.co.jp/>



■着衣泳「浮いて待て」

今年も5・6年生が、「着衣水泳」を行いました。夏は、海や川で楽しく遊べる季節ですが、「もしも…」の時のために、救助の方が到着するまで、自分の命を自分達で守るための方法を3つのポイントで学びました。キーワードは「浮いて待て」です。1. 自分で浮く、2. 道具で浮く、3. 人を助ける方法



まず始めは、自分で浮いて待つ方法を学びました。水泳の得意な子も水着ならば簡単に浮けますが、洋服を着て靴を履いていると、普段のようににはいかず…。次に、道具を使って浮く方法を学びました。身近にあるペットボトル1つでも、かなり浮力があることを学びました。最後に、人を助ける方法について学びました。人を助けるときに注意しなければいけないことは、「泳いで助けに行かないこと」です。おぼれている人は、助けに来た人に抱き着いてしまうことが多く、助けに行った人も身動きが取れなくなって、一緒におぼれてしまうことがあります。人を助けるときには、119番通報をして、周りの大人を呼んで、身近にあるものを使って救助してください。

■不審者対応訓練

今年も、行徳警察署員をお招きして「授業中、校舎内に不審者が侵入した」という想定で、不審者対応訓練を実施しました。防犯の大前提是、「不審者を校地、校舎内に入れない」ということで、児童の安全確保のための基本的対応は、「子供達を不審者から遠ざける」ことです。



不審者が侵入したことを知らせる校内放送(秘密の合言葉)が流れると 1・2 年生は、出入り口を素早く施錠し中から出入口に机等を並べ、バリケードを築きます。3～6年生は、担任の誘導で、事前に割り当てられた施錠可能な場所(ランチルームや体育館等)に迅速に避難します。この間、担任外の職員が中心となって「さすまた」や「いす」などを持って、不審者発見の場所に急行し、警察到着まで不審者を包囲することで動きを制御します。子供達は、緊張感をもって真剣に訓練に取り組んでいました。

昨年度の訓練では、行徳警察署員の方から「日頃から、不審者を侵入させないために、保護者の方が、学校に入るときのルールを徹底すること」のご指導がありました。本校では、日常的に、保護者が来校する際には、必ず学校から配付された名札を着用することになっています。名札を忘れた場合は、必ず、事務室を通って、来校者名簿を記載してから、校内に入るようにしてください。今年は、さらに「さすまたの上手な使い方」に関するお話をいただきました。今後も、不測の事態が発生しないよう、不審者の侵入防止に努め、子供達の安全を確保していくたいと思います。保護者の皆様も来校の際の名札の着用に、ご協力を願います。



■プール清掃を業者委託に！

昨年度まで、おやじの会を中心に保護者ボランティアの皆様と教職員で行っていたプール清掃を今年度は、市教委からの学校予算で業者委託することができます。水泳指導期間中、プールの水質維持のために水の入れ替えを一度、行いました。その際には、6年生にお掃除をお願いしました。全校児童のために、6年生が頑張ってお掃除をしてくれました。

■宿泊学習の積立金について

本校では、子供達の活動に必要な教材費等を保護者の皆様に学校徴収金という形で、お預かりしております。学校徴収金は、毎年 PTA 会計監査の方々に、年度末に監査をしていただき、適正に運用していることを確認していただいている。先日、近隣校において、保護者の皆様の信頼を失墜する行為が発覚し、学校関係者として非常に残念に感じていると同時に、本校の保護者の皆様が不安な思いをされたのではないかと危惧しております。

そこで、5・6年生の保護者からお預かりしている積立金については、旅行業者と協議し、前払いという形で入金させていただくことにいたしました。また、今後、発生する支払金については、その都度、保護者の皆様に、個別に入金していただくシステムに変更させていただきました。また、4年生から行っていた積立金も今年度以降は行わず、行事ごとに保護者の皆様に個別払い(振込等)していただくことを、旅行業者と確認いたしました。

すでに、4・5・6年生の保護者の皆様には、お伝えしておりますが、改めて保護者の皆様には、ご理解とご協力を願います。なお、業者ごとに、振込手数料が若干異なります(300 円前後)ので、ご了承ください。